

## 現役葛中生、教育長に語る

# 新・葛塚中学校への期待と夢

来年4月開校に向けて工事が進む、新・葛塚中学校。8月20日（水）、現在の葛塚中学校に通う生徒5人が、教育委員会のメンバーとともに建設現場を見学しました。

新しい中学校は著名な建築家・安藤忠雄さんの斬新な設計で、これまでにない校舎になりそうです。生徒会メンバーの率直な声を聞いてみます。



**小林 俊也さん**  
3年4組。陸上部所属、生徒会長。先生と生徒の間で立つ生徒会を引っ張る、本当に頼りになる存在。



**佐藤 有希さん**  
2年4組。剣道部所属、生徒会常任委員。自分の意見をしっかりと持ち、生徒会に活かし、委員の責任を果たす。



**富樫 大樹さん**  
1年3組。バスケット部所属。1年生を代表して参加。とても明るくてユーモアあふれる、クラスの人気者。

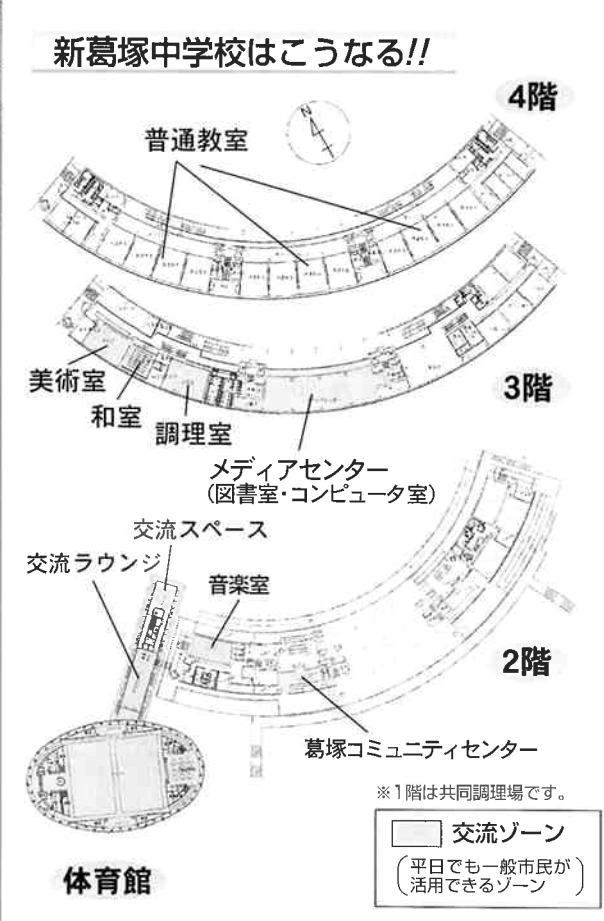


**会田 修 教育長**  
豊栄市教育長。現場に出て行き、生徒と直接対話しながら問題を把握し、問題の早期発見と改善を図る。



**教育長** 建設中の学校を見学して、どうだったかな？  
**富樫** 四角形でなくてびっくり。田邊 これまでの学校のイメージと違って、デザインが斬新だし、完成すると、いろいろ新しい発見がでさそう。佐藤 新校舎は、広いオープンスペースがあったり、トップライト（天井の採光）が工夫されていて、明るく開放的だと聞いたので、楽しみです。笹川 今回の葛中では、1階が3年生、2階が2年生、3階が1年生と分かれているけれど、新校舎では普通教室が4階にみんな集まっているので驚きました。

かなくてもいいから、いいと思います。でも、教室が上級生と同じ階というのは、ちょっと悪い気もするけど。教育長 登校すると、全校生が毎日4階に行くことになるんだよね。佐藤 今はほかの学年の人と顔を合わせる機会が少ないけど、今度は交流が回りやすくなって、いいと思います。小林 ぼくら3年生は卒業しちゃうけど、体育館にはランニングコースもあり、うらやましいです。それに市民の



**田邊** 専門の人から教えてもらえるのは深く学べるし、興味もわきます。1年生の時の総合学習「豊栄探訪」で、豊栄は集落から集落までの田んぼの長さが日本一などの身近なことでも知らなかったことが分り、農業が好きになりました。**校長** 市民との交流という点では、先進的な学校として、生徒にとってプラスになるようにしていきたいですね。先生方の授業を、より充実させるために、例えば国語の短歌の授業の時に地域で短歌をやっている人にゲストティーチャーとして登場していただいて、生徒に対して学校でも、地域でも、気軽に言葉かけするような関係になっていただけたらなと思います。**教育長** 校舎の珍しさが目立ってしまいうけど、新しい学校へ移るに際して、これまでの葛中の良さという伝統を引き継いでいってもらえたらすばらしいなと思っています。小林 男女の仲がいいことは、僕が卒業しても引き継いでほしいです。普段教室で気軽にしゃべったりしているけど、小学校のときはなかった。富樫 いろんな部活動があつて、精一

杯がらぶるのは続くと思います。**佐藤** 体育祭や文化祭などの行事は、規模も大きく、小学校と違って生徒や生徒会の意見を取り入れて行うので盛り上がりがあります。生徒が中心になって取り組み、考えていくことは、新葛塚中学校でも大切にしていきたいです。**教育長** いじめについてはどうかな。小林 いじめ問題については、現在生徒会が中心になって、「新しい学校にいじめを持ち込まない」というキャンペーンに取り組んでいるんですが、後輩にも続けて欲しいです。**富樫** 地域の人も出入りする学校で、平和そうな感じがする。**田邊** 今日見学して、来年からあそこ

に勉強をがんばりたいと感じました。いじめも結局は、生徒の心の持ち方だと思おうので、みんなで新校舎でのびのびやっっていけば心配ないと思います。**校長** 地域の人たちと触れ合える学校というところで、地域の人のための施設が工夫され、人員の配置も考えていた。だから、まさに日本のトップクラスの中学校になります。全校生徒には誇りをもって、日本をリードする生徒、人間に育ってほしいし、そういう学校を地域の人たちの力と知恵をお借りしながら作っていきたくです。できれば地域から協力していただくだけでなく、地域に対して何かをお返しできる学校にしていきたくと考えています。**教育長** 新しい中学校は、「対話と交流の風いきかう学校」をキャッチフレーズにして設計されました。そのイメージがわくような学校を、みんなで作りあげていきたいですね。

**広がる新・葛塚中学校の活用方法**

新・葛塚中学校は、1階に葛塚コミュニティセンターの事務室が入ることから、地域に開かれた学校として、さまざまな可能性を秘めています。昨年12月、市の教育委員や小中学校教員、コミュニティの代表など23人で「新葛塚中学校運営懇談会」を組織し、新葛中の活用方法を検討しています。現在までの検討内容を紹介します。

**メディアセンターは市民も利用可能に**  
図書室を兼ねるメディアセンターを、開校時間内から市民も利用可能にしてはどうか。

**授業で使わないとき、調理室・音楽室・美術室などを一般開放**  
平日の放課後や土日など、授業で使わないとき、これらの専門教室を市民が利用できるようにしてはどうか。

**市民がサークル活動などに利用しやすいよう、平日の夜も利用可能にしてはどうか。**

**みんなで協力して、葛中の森づくり**  
PTAなどで葛中周辺に植樹を行い、コミュニティやPTAで管理しているのはどうか。

このほかにも、いろいろな検討をしています。皆さんも、新・葛塚中学校の活用方法についてご提案がありましたら、どしどしお寄せください。

**問い合わせ**  
学校教育課学校管理係 内線295



**笹川 千明さん**  
1年1組。バスケット部所属、1年生を代表して参加。何ごとにも、自分から立候補して積極的に取り組むがんばり屋。



**田邊 晃裕さん**  
2年2組。野球部所属、生徒会常任委員。小学校からリーダー的存在で、先生や上級生とも意見を交し合う。



**渡部孝三郎 学校長**  
葛塚中学校校長。平成13年4月から現職。将来的なビジョンを持って新校舎への移転を引っ張る。